

活動報告

団体名	フェニックス救援隊
活動名	最前線ボラベースの環境整備のため重機等配置と熱中症対策
活動期間	2018/07/5~2018/8/5
活動の成果	<p>発災直後には、活動に必要な支援金や助成金を提供する団体がないため、当隊が連携チームに重機運搬費用や燃料代を提供することにより、発災直後に 2 台の重機を運搬することができたと思います。その結果、いち早く現場で被災者の貴重品や思い出の品探しを行いながら土砂撤去や瓦礫撤去に着手できたと思います。また、愛媛県西予市は街ごと水没したことから、運搬用軽トラの調達は急務という連携チームからの報告を受け、宇和島市で即座に中古の軽トラを調達し配備しました。</p> <p>一方、猛暑となることを予想し、ボランティアが熱中症にならないように冷凍庫や冷蔵庫を合計 5 か所に設置する他、大量の塩分入り飲料水を配置しました。時間の経過と共に被災者用の支援物資は大量に集まる一方で初期段階ではボランティア用は乏しい現実を経験していましたので、とにかくボランティアが倒れないように環境整備をすることに尽力したつもりです。また、長期化するボランティア用の洗濯機も配置しました。これらのロジを迅速に行いながら目途がついたところから、重機チームと共に現場活動に着手しました。重機は被災地で作業経験が豊富なオペレーターの重要性はもちろんのこと、一緒に組んで作業するボランティアもリスクがありますので、経験が問われます。そういう点では、お役にたてたものと思います。更に、水害現場で必ず発生するカビ対策も重要です。当隊の前線で活動するメンバーは本業が薬剤師や管理栄養士等の専門家であること、また後方支援としては医師や医療関係者の助言をもらいながらの活動を行うことができたと考えます。高圧洗浄も優しいようですが、実は高圧であるが故に大切な住居を傷めることがあります。総社市からは、各地の災害時現場で経験を積んだ隊員に派遣要請がありました。初期段階としては、資金が乏しい中、出来る事に対し最善を尽くしたのではないかと思います。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>近年、大規模災害が多発するようになり、実はボランティアは資金的にも心身共に疲弊しているのが現状かと思います。現場で頑張っているハード系ボランティアは、誰も弱音を吐かず真摯に復旧活動に取り組んでいます。長期化していますので長期滞在ボラは自分の生計もままならない中、預貯金を崩しながら活動をしている人も大勢います。一方、そういう長期滞在ボラと連携を深める勤務者や自営業ボランティアも大勢います。週末、有給休暇、夏休み、ボランティア休暇を利用して遠隔地から被災地に向かいます。経験豊富で様々な知識や技術を持って難題に立ち向かっていきますが、悩ましいのは交通費です。私たちのような技術系ボラの場合は、社協さんのボラセンが受けられないような技術系の活動が多いため、ある意味、専門家としての災害ボランティアとも言えますが、流石にこれだけ災害が多いと限界があります。このような中、赤い羽根を通じたサポートは、何よりも力を与えてくれます。皆様の善意に心から御礼を申し上げます。有難うございました。</p>

(活動のようす)

